



HOTサマーアドベンチャー

夏休みは、Jリーグへ行こう。

Jリーグは、「夏休みはJリーグへ行こう」を合言葉に、今年の夏をより一層楽しんでいただくために、「HOTサマーアドベンチャー」と銘打ち、夏休み期間中Jリーグ36クラブのホームスタジアムにおいてさまざまなイベント、キャンペーンを展開する。この「HOTサマーアドベンチャー」は、7月17日(金)～8月30日(日)を対象期間とし、J1、J2各スタジアムにて、「夏祭り、浴衣、花火、ビアガーデン」といった、家族、友人がそろって楽しめる夏にちなんだイベントやキャンペーンなどを実施する。

※下と右の一覧表は、8月1日以降に実施分のみ掲載。対象試合、各クラブの一押しイベント・キャンペーンの詳細につきましては、Jリーグ公式ホームページ、各クラブの公式ホームページをご覧ください。

[J1] (新潟、京都は7月中旬にイベント実施)

※7月24日現在

クラブ名	対象試合	開催日/キックオフ	対戦相手	試合会場	夏のー押しイベント・キャンペーン
山形	第20節	8月 2日(日) 18:00	G大阪	NDスタ	「モンテ DE 夏祭り」 ★浴衣DEナイト(8/2)・・・選手と浴衣で写真撮影! ★ケアンズナイト(8/19)・・・オーストラリア先住民のアボリジニダンサーの魅惑のパフォーマンス ★3試合スタンプラリーで浦和レッズアウェイツアー・選手セレクト浴衣を当てちゃおう! ★大会中は期間3試合当日券半額! ★夏祭り屋台コーナー 期間常設
	第22節	8月19日(水) 19:00	F東京		
鹿島	第21節	8月15日(土) 18:30	大分	カンマ	「Ecoデー」 4人以上乗り合いでB駐車場無料開放 など
	第23節	8月23日(日) 18:30	F東京		
浦和	第20節	8月 2日(日) 18:00	清水	埼玉	「ちよこつと夏祭り」～スタジアムに雪も降る?～ ★試合前に夏祭りを実施 ★スタジアムの広場で雪を降らせて涼を演出 【時間】12:00～18:00(予定)
大宮	第21節	8月16日(日) 18:00	磐田	熊谷陸	「大宮アルディージャ×鉄道博物館」コラボ企画 キャンペーン期間中(8月16日(日)～8月31日(月))、鉄道博物館と大宮アルディージャのホームゲームにて相互入場割引サービス実施! 【その他、イベント情報】★大花火大会を実施!あついで!熊谷コラボちよこつちよこつ!(8/16) ★子どもフットコイデー! 選手サイン入り下敷をプレゼント(子ども限定)(8/22) ★子ども横丁実施!(8/29) ★ナイターハーフで半額実施!(8/16、8/22、8/29)
	第23節	8月22日(土) 18:00	千葉	NACK	
	第24節	8月29日(土) 18:00	鹿島		
千葉	第21節	8月15日(土) 19:30	柏	フクアリ	夏休みわくわくスタンプラリー 小学生を対象としたスタンプラリーを実施。試合ごとに違うスタンプを押し、対象の3試合全部に会場すれば、オリジナルクリアフォルダーをプレゼント!【時間】キックオフ4時間前～キックオフ15分後まで
	第22節	8月19日(水) 19:00	名古屋		
柏	第20節	8月 2日(日) 18:00	神戸	柏	ゆかたデー 試合当日ゆかた(基本可)を着て来場された方、先着1,500名様に場内売店でお好きなドリンクと交換できる「ドリンク無料券」をプレゼント! また、レイクんと盆踊りなどを実施します。
F東京	第21節	8月16日(日) 18:30	横浜FM	味スタ	夏の汗は東京の銭湯で流そう!「銭湯Day」 FC東京と東京都公衆浴場業生活衛生同業組合に加盟する「東京の855の銭湯」とのタイアップ企画。
川崎F	第20節	8月 1日(土) 19:00	F東京	等々力	川崎港振興協会「JOWSランド」 ★本物のジョーズがやってくる! ★ジョーズフードコーナー(鯨にちなんだ料理を販売) ★洗足学園音楽大学協力:あのジョーズテーマ曲を会場内にて生演奏します。
横浜FM	第20節	8月 1日(土) 19:00	京都	日産	「俺たちの夏祭り」 日本の夏祭りをテーマとしたイベント・プレゼントを実施 ★和太鼓パフォーマンスステージ ★緑日 ★来場者に特製うちわをプレゼント! など
清水	第21節	8月16日(日) 19:00	新潟	アウスタ	未定
第23節	8月22日(土) 19:00	磐田			
磐田	第20節	8月 1日(土) 19:00	千葉	ヤマハ	「鹿児島の日」 鹿児島物産販売、特産品配布、鹿児島市長キックイン、鹿児島市選抜小学校6年生前座試合などを実施
名古屋	第21節	8月15日(土) 19:00	川崎F	瑞穂陸	「クランパスビアガーデン」 【時間】15:00～19:00(予定)
	第24節	8月29日(土) 19:00	新潟		
G大阪	第23節	8月23日(日) 18:00	名古屋	金沢	「金沢でSHOBU」 ガンバ大阪夏の金沢決戦!
神戸	第21節	8月15日(土) 19:00	広島	神戸ユ	「ヴィッセル夏祭り」ーユニバー夏祭りー ★ハーフタイム打ち上げ花火 ★沖縄料理めんそれ屋台 ★夏だ!浴衣だ!浴衣まつり ★夏休み特別企画!思い出の球技!場内で実施予定、事前募集! ★オリジナルうちわプレゼント!
広島	第20節	8月 1日(土) 19:00	鹿島	広島ビ	「ぶち破れ! WE FIGHT TOGETHERシリーズ!」 ★人文字をつくろう! (8/1に実施) など
	第22節	8月19日(水) 19:00	大分		
	第23節	8月22日(土) 19:00	浦和		
大分	第20節	8月 1日(土) 19:00	名古屋	九石	「行こう夏! トリニータパーク」 ★夏祭り(8/1に実施) ★コーナーデー(8/24に実施)
第23節	8月24日(月) 20:00	神戸			

[J2]

クラブ名	対象試合	開催日/キックオフ	対戦相手	試合会場	夏のー押しイベント・キャンペーン
札幌	第32節	8月 5日(水) 19:00	福岡	札幌厚別	「みんな de セタ祭り」 北海道でセタ祭りが行われる8月7日(金)を前に、一早く8月5日のナイトゲームで、子供たちを中心に思い出の願いを書いた短冊を笹にくり付けてもらい、セタ祭りを楽しんでもらいます。 【時間】17:00～ハーフタイム終了まで
仙台	第31節	8月 1日(土) 19:00	熊本	ユアスタ	ユースタ昇格劇場 夏の陣!! -Back to J1 2009- ★ホームゲームポイント合戦! ★宮城県内市町村! 見参!!
	第33節	8月 9日(日) 18:00	愛媛		
	第36節	8月30日(日) 18:00	岐阜		

クラブ名	対象試合	開催日/キックオフ	対戦相手	試合会場	夏のー押しイベント・キャンペーン
水戸	第36節	8月30日(日) 18:00	岡山	笠松	「笠間市の日特別企画 選手と作ろう! 世界に1つだけの空筒焼」 水戸市に隣接する笠間市の伝統工芸「空筒焼」を、選手と一緒に給付体験します。【参加費】1,000円
栃木	第33節	8月 9日(日) 18:00	横浜FC	栃木グ	「宇都宮市民デー」 ★宇都宮餃子会によるスタジアムでの餃子販売 ★宇都宮カケル倶楽部による「栃木SC応援カケル」などの販売 ★渡辺貞夫氏指導のドラムチームによる音楽パフォーマンス など
	第31節	8月 2日(日) 18:00	鳥栖		
	第33節	8月10日(月) 19:30	岡山	正田スタ	
	第34節	8月15日(土) 19:30	湘南		
草津	第34節	8月15日(土) 19:30	湘南		「ザスバ草津 Summer Party」 ★特設テントに各試合10店舗以上の屋台が出現 ★The Summer Party チケット発売 8月の4試合がセットになった選手写真入り特製チケットと試合会場使えるクーポン券がついたその名も「The Summer Party」チケットを発売 ★草津温泉感謝祭記念スペシャルマッチを開催
	第36節	8月30日(日) 18:00	札幌		
	第31節	8月 2日(日) 18:00	岐阜	味スタ	
東京V	第33節	8月 9日(日) 18:00	札幌		「夏の太鼓選会」 選手の愛用品などが当たるスピードくじを実施! 【時間】開門時間(16:30)～ ※キフトがなくなるまで
	第35節	8月23日(日) 18:00	富山	国立	
横浜FC	第36節	8月30日(日) 18:00	徳島	ニッパ球	「ゆかたde来Night! 着Night! 行かNight!」 ゆかたでご来場された方限定「夏はゆかたで抽選会!」 【時間】キックオフ2時間15分前の先行入場からハーフタイム終了後まで
湘南	第32節	8月 5日(水) 19:00	水戸		「ベルマルレ真夏の熱叫まつり～Happy Stadium Project～」 7月19日から8月23日まで平塚競技場で行われる5試合は「真夏の熱叫まつり」と題して熱く開催! 夏休みはベルマルレで遊ぶ! 楽しむ! 応援する! ≪スタジアムでココがお得&ココが楽しい!≫ ★チケットがお得! ホームタウンデーチケットの特別価格や「アロハ・浴衣デー割引」、「雨割」などお得なチケットも。 ★イベントも満載! キングバルの熱叫スガ割り、J1昇格祈願平塚競技場花火大会など。 ★お腹も満足! 大好評ベルマルレビール販売やフードパーク夏だけの熱叫メニューをチェック!
	第33節	8月 9日(日) 19:00	鳥栖	平塚	
	第35節	8月23日(日) 18:00	仙台		
甲府	第31節	8月 2日(日) 18:30	横浜FC		夏休み学生特別割引!「One Coin One Game」 (8/2vs横浜FC、8/9vs岐阜、8/16vs岡山、8/29vs富山) 【販売場所】小瀬スポーツ公園陸上競技場メインスタンド側「チケット売場」 【販売時間】15:00～試合終了まで 【対象者】小学生・中学生・高校生・短大生・大学生・専門学生など現在在学の方 【料金】S自由席、A自由席、ホーム自由席すべてで1試合お一人様500円 【購入方法】小中高生の方は、前売券をお買い求めいただくか、試合当日チケット売場でご購入ください。短大生、大学生、専門学生の方は、試合当日チケット売場で「学生証」をご提示の上ご購入ください。 夏休み「わくわくスタンプラリー」 (7/26vs仙台、8/2vs横浜FC、8/9vs岐阜、8/16vs岡山) 【配布・押印場所】小瀬スポーツ公園陸上競技場メインスタンド側【総合案内所】 【配布・押印時間】15:30～試合終了まで 【対象者】小学生・中学生・高校生 【参加方法】7月26日の仙台戦で学生証をご提示いただいた方にスタンプカードを配布します。※小学生は窓口で「学校名、学年」をお伝えください。 8/2横浜FC戦、8/9岐阜戦、8/16岡山戦の3試合すべてスタンプを集めた方全員にグッズセットをプレゼント! さらに、抽選で15名様にも、8/29富山戦のピッチ内にてアプ直前の選手集合写真撮影およびホーム側ベンチにてピッチアップを見学いただけます。
	第33節	8月 9日(日) 18:30	岐阜		
	第34節	8月16日(日) 18:30	岡山	小瀬	
富山	第36節	8月29日(土) 18:30	富山		今年夏の夏は、みんなでカターレ富山のホームゲーム戦を応援しに行こう! (7/22vs札幌、8/2vs湘南、8/16vs福岡、9/2vsC大阪、9/12vs岐阜) 7月22日～9月12日に開催されるカターレ富山のホームゲーム戦、全5試合、すべて応援に来てくれたファン・サポーターの方に素敵な景品をプレゼント! 【時間/場所】17:00より配布 富山県総合運動公園陸上競技場 カターレサッカーパークオープン(8/2) ライクくんふわふわ披露目、キックターゲット、スピードガン、ドリブル、フリースロー、スルパスなどの参加型ゲーム広場を開催 【時間/場所】15:00～18:00 富山県総合運動公園陸上競技場 アルペン広場
	第34節	8月16日(日) 18:00	福岡		
岐阜	第31節	8月 2日(日) 18:00	湘南		最高にアツくなれ! 2009夏 ～君と叶えた! 夢がある～「さぞって観戦! よろこび増え!!」キャンペーン クーポン・特典ランは、ホームゲーム開催日の岐阜メモリアルセンター長良川競技場で、ゲットしよう! ★クーポン特典 ①一緒に来場のお友達に招待券1枚プレゼント! ②アベチケットご本券マフラー2枚プレゼント! ③回数券を購入しチケット1枚プレゼント! ④団体割引チケットをご購入でタロムマフラー人数分プレゼント!
	第34節	8月16日(日) 18:00	札幌	長良川	
	第35節	8月22日(土) 18:00	横浜FC		
C大阪	第31節	8月 2日(日) 18:00	札幌	長居	3試合連続企画「大クイズ大会」 3試合連続で行うスペシャルクイズ大会。豪華賞品が登場!
	第32節	8月 5日(水) 19:00	草津		
岡山	第32節	8月 5日(水) 19:00	東京V		充実のファジフーズ夏の陣!!「ホルモンどん」が続々登場!! 夏のナイトゲームを迎え、ファジフーズの新メニューが続々登場!! 岡山県津山地域のご当地グルメ「ホルモンどん!!」この他、今更わさの「男のカラー」や「やきとじ丼」など新メニューが続々登場!! 8月5日、23日にはフーズテント村を特設。 夕飯に、おつまみに、デザートにメニューがさらにハワーアップ!! 夏のナイトゲームはファジフーズが熱い!!
	第34節	8月16日(日) 18:00	札幌		
	第35節	8月23日(日) 19:00	熊本		
徳島	第31節	8月 1日(土) 18:30	愛媛	鳴門大塚	「2009四国ダービー祭り」 ★四国4県の旗が集結! ★グルメ対決 ★夏休み子供企画 ★ゲーフラ祭り～ゲートフラッグを作ろう～ ★ウォルティパーク無料体験 ★花火打ち上げ ★クラブスコットホームゲームデビュー 【時間】14:00～20:30
愛媛	第35節	8月23日(日) 19:00	草津	ニスタ	「夏休みのニスタはグルメ満載! カキ氷企画!!」 地域色豊かなカキ氷をご用意いたします! 【時間】16:00～試合終了まで
福岡	第36節	8月30日(日) 19:00	東京V		「Good Bye SUMMER VACATION!」 毎年恒例! 夏休み最後の試合へ県内の小学生をご招待! 会場では子供向けイベントを実施予定。【時間】16:00～試合開始まで
	第31節	8月 2日(日) 19:00	岡山		
	第33節	8月 9日(日) 19:00	C大阪	レスタ	
	第35節	8月23日(日) 19:00	栃木		
鳥栖	第36節	8月29日(土) 19:00	湘南		絵日記コンテスト 夏休み期間中に行われるサガン鳥栖ホームゲーム4試合の絵日記を募集します。サガン鳥栖の選手、スタッフが優秀作品を選び、発表された方には豪華賞品をプレゼント! (優秀者は9月のホームゲームにて発表します)
	第32節	8月 5日(水) 19:00	甲府	ベアスタ	
	第34節	8月15日(土) 19:00	東京V		
熊本	第36節	8月30日(日) 19:00	C大阪	熊本	2009ラストサマー 最後の戦い vs セレッソ大阪 首位争いを展開するセレッソ大阪を相手に2人J大集合スペシャル!

岡田正義氏は2009年5月9日、J1リーグ戦第11節、大分トリニータ対横浜F・マリノスの試合で、Jリーグ史上初となるJ1主審担当通算300試合を達成した。30年以上にわたって審判活動を続ける岡田氏へのインタビューを、前号に続いて掲載。Jリーグ発足以来の日本人審判のレベルアップ、フェアプレーなどについて語ってもらった。

若いうちから高いレベルで

—— Jリーグ発足当時、日本人審判の技術はどのようなレベルにあったのですか。

岡田 海外から一流選手が来るなど、最初は選手のほうが上を行っていたという印象があります。プレー、判断のスピードも速く、巧妙さといった側面も含めて、いろいろなのが一度に入ってきましたからね。当初はそういったものに慣れておらず、後手に回ることもありまして。

——当然、それではいけないと。

岡田 海外から招へいた一流審判から学び、ビデオ研修を熱心に行ったことなどもあり、徐々に追いついていきました。サッカー界でも、審判のレベルを上げないとチームも強くならないという認識が高まってきました。審判関連の予算も増えました。2006年、ドイツでのFIFAワールドカップにおいて、上川(徹)くんが3位決定戦で笛を吹き、日本人審判が世界基準に近づいたことを示し、われわれの方向性が間違っていなかったことを証明してくれました。

——今後、さらにレベルアップしていくために大切なことは。

岡田 世界では若い審判が高いレベルの試合を担当しています。レフェリーは経験が大切です。体も動く若いうちから、ハイレベルの試合で経験を重ねることが必要だと思います。日本サッカー協会審判委員会の「若い審判にどんどん経験を積ませよう」という方針は、とても素晴らしいものです。でも、Jリーグ審判研修会では「若い者には、まだまだ負けな」とあざつきました(笑)。

—— Jリーグの17年間に於いて、フェアプレーの浸透についてはどのように見えていますか。

岡田 選手たちは、フェアプレーをしっかり考え

るようになったと思います。まず、自分たちがけがをしたくないというのがある。フェアプレーがないと、お客さんも離れていってしまう。女性や子供たちの目もあります。ただ、選手がけがで倒れ、ボールを外に出すのがフェアプレーかという、必ずしもそうでないこともあります。倒れても、少々けがをしても、ボールを追うひたむきさは感動を呼びます。そういった場面でも、ボールをけり出さないチームが増えてきました。それはとても重要なことだと思います。

——選手が倒れている間は、相手より一人、少なくなるわけですからね。

岡田 イングランドのプレミアリーグなど、倒れている選手にブーイングを浴びせません。「倒れたらボールを外に出してくれるのでは」と考える選手もいるようですが、そういう環境のリーグにはしたくない。大したけがではないようなら、わたしはプレーを止めません。もちろん、その判断は難しい。頭とかおなかとか、危険な部位はきちんと見極めなければなりません。しかし、アクチュアルプレーイングタイムが増えれば、もっと試合の魅力は増すと思います。

選手の考えを理解できれば

—— 不必要なファウルについては、いかがですか。

岡田 それはなくしていきたいし、なくさないといけない。汚いプレーをとにかく減らしたいと思っています。選手たちには、そういうプレーをしたら(レッドやイエロー)カードを出されるということ、よく考えてほしい。無謀なファウルや、相手選手がけがをする危険のある汚いプレーに対しては厳しく対処し、次からはそれがないように、強い気持ちで臨んでいます。

——魅力的な試合をつくり上げるためには、選手との良好な関係を築くことが必要といわれます。選手とのコミュニケーションにおいて、どのような点に配慮しますか。

岡田 意思疎通の基本は、正しい判定を下すことです。それが選手の信頼を獲得し、コミュニケーションを取る一番の方法だと思います。そのためには、いいポジションで、いい角度で、正しい判定を繰り返す。近すぎてプレーに干渉してもいけないし、遠すぎて選手から「見えているのか」と思われてもいけない。距離が良くても、角度が悪く見えにくい。その点は常に考えながらやっています。いいコンディションで試合に臨むための、普段のトレーニングとも無関係ではありません。

——表情や、カードの出し方などにも工夫があるのですか。



【PROFILE】

岡田 正義(おかだ まさよし)1958年5月24日生まれ。東京都出身。93年に国際主審となり、98年のFIFAワールドカップにおけるイングランド対チュニジアなど、数多くの国際試合を経験。Jリーグでは97年、2002年、07年に優秀主審賞を受賞。02年からは、日本サッカー協会のスペシャルレフェリー(現プロフェッショナルレフェリー)として活躍。

岡田 基本的には厳しい表情をしているからこそ、笑顔が生きてくる。そう考えて、使い分けることはあります。大切なのは、常に心の中は冷静であることです。カードについては、試合の温度を感じることが非常に重要。選手が何を考えているかを理解できれば、コントロールがしやすくなります。問題が起きそうなところで先手を打ち、カードを出しやすい環境をつくっておくことも大切な点です。——最後に、これから審判を目指す人々に、ご自身の経験に基づいたアドバイスがあればお願いします。

岡田 しっかりと目標設定をしてほしいですね。「ここに到達したい」という目標をきちんと持って、それに向かうことです。試合中もそうですが、普段から強い気持ちで努力してほしいですね。試合中には、さまざまなプレッシャーがあります。信念を持ち、「これだけは譲れない」という強い姿勢を持つことが大切です。



J1主審担当通算300試合を達成した翌節、記念の花束贈呈が行われた(J1第12節、柏対鹿島)



現在もJリーグの第一線で活躍。若い審判たちの良きお手本でもある(J1第15節、山形対川崎F)

29 鹿島アントラーズ

都市型チームにない強みを生かし
ホームタウンと密接な関係を構築

ホームタウン協議会

鹿嶋、神栖、潮来、鉾田、行方という5市をホームタウンに持つ鹿島アントラーズ。総人口約28万人、都市型のチームにはできない強みを生かそうと2007年から始まったのが、「ホームタウン5市・全小学校訪問プロジェクト」だ。全73校の児童と選手が触れ合い、おらが町のプロサッカー選手をより身近に感じてもらう。昨年までに授業の5、6時限目をつかった交流の形も定着し、日本代表戦やACL(AFCチャンピオンズリーグ)でスケジュール調整ができなかった今年も夏休み明けから開始を予定している。鈴木秀樹事業部長は「ホームタウンに住んでいる人たちが地元のチームを応援するスタイルをつくるには、小さい頃からのアプローチが必要」と地道な取り組みの重要性を説く。

活動は数字にも反映されつつある。06年、鹿島はホームタウン小学校の児童に対し、ホームゲームの年間無料パス、いわゆる「キッズパス」の配布を始めた。一人でも多くの子供にスタジアムへ足を運んでもらおうという試みは、初年度の1試合利用平均約380人から小学校訪問開始とともに年々増加傾向。昨年は約590人、今年は600人を超える推移を見せている。また、当初は学校単位の利用者に大きな偏りがあったが、少しずつ全小学校へと広がるようになってきた。クラブの努力は確実に地域へと根付き始めている。

こうした試みを含め、すべての契機は06年2月にホームタウンを広域化したところから始まる。それまでの枠組は鹿嶋、神栖、潮来の3市。ここに鉾田、行方が加わり、茨城県の鹿行地域と呼ばれる一帯すべてを包含するホームタウンが出来上がった。さらに07年6月には、鹿島と5市が連携して鹿行地域の振興を図る「ホームタウン協議会」を設立。出資を伴う関係の下、地域密着クラブとなるための支援やスタジアムを使った観光PRなど具体的ビジョンを掲げ、お互いが協議会を有効活用していくという



鈴木 事業部長



「ホームタウン5市・全小学校訪問プロジェクト」は、鹿行地域の全小学校で実施。小笠原満男(左の写真)、内田篤人(右の写真)といったトップチームの中心選手も、児童と楽しく触れ合う ©鹿島アントラーズ



筋道がつくれた。08年から使用する現行ユニフォームの右袖下には、ホームタウン5市をイメージしたマークが入り、クラブとホームタウンの結びつきを一つの形にした。

「協議会を立ち上げたことで、互いの窓口が一本化され、作業の効率も上がった」。事業部ホームタウン担当課長の岡本文幸氏はメリットの大きさを切実と語る。それまでは総務部が受け持っていた仕事を、ホームタウン担当という窓口をつくり、5市にとっての分かりやすい受け皿を設ける。顔を突き合わせた付き合いは仕事をやる上で当然かもしれないが、一番疎かにしてはいけない部分であることも事実。今ではホームゲームの際、試合に足を運んだ5市の担当者がクラブ関係者と談笑する風景は当たり前。鈴木事業部長は「専門部署を持つからこそ、担当者同士で密なコミュニケーションが取れる」と話す。

岡本 ホームタウン
担当課長

う。04年から始まった活動で、今年までに茨城県はつくば、日立、稲敷、かすみがうら、美浦、千葉県は銚子、東庄、香取、成田まで広がった。5市をホームタウンにしているとはいえ、交通アクセスや人口数でのアドバンテージは決して多くない。近隣市町村をどう取り込むかはテーマの一つでもある。ただ、数に広がりを見せているものの、「フレンドリータウン」には問題点も多く、「ホームタウン近隣市町村とはいえ、定義があいまい」(鈴木事業部長)という側面もある。岡本事業部ホームタウン担当課長は「5市あつてのフレンドリータウン。ホームタウンと強く結びつきながら、それ以外の地域との関係性を考えていかななくてはいけない」と今後の見通しを語る。鹿島ならではの関係構築へ向け、まだまだ道のりの途中だ。

フレンドリータウン

さらに、アントラーズには「フレンドリータウン」というシステムが存在する。ホームタウンに隣接する市町村を「フレンドリータウン」とし、市民デーやスタジアム内での特産品PRなどを行

う。04年から始まった活動で、今年までに茨城県はつくば、日立、稲敷、かすみがうら、美浦、千葉県は銚子、東庄、香取、成田まで広がった。5市をホームタウンにしているとはいえ、交通アクセスや人口数でのアドバンテージは決して多くない。近隣市町村をどう取り込むかはテーマの一つでもある。ただ、数に広がりを見せているものの、「フレンドリータウン」には問題点も多く、「ホームタウン近隣市町村とはいえ、定義があいまい」(鈴木事業部長)という側面もある。岡本事業部ホームタウン担当課長は「5市あつてのフレンドリータウン。ホームタウンと強く結びつきながら、それ以外の地域との関係性を考えていかななくてはいけない」と今後の見通しを語る。鹿島ならではの関係構築へ向け、まだまだ道のりの途中だ。

広域ホームタウンが協議会という出資を伴う関係で結びついている事例は日本でも稀。そこからの次代を担う若年層への地道な貢献活動や、近隣地域への積極的な働きかけは、地道ながらも地域に根差したクラブづくりへの最短距離だとチーム関係者全員が信じて取り組んでいる。「そういった土台に、どれだけ共通したマインドを乗せることができるか。大事なのはマインドの共有」と理想を語る鈴木事業部長。少しずつ、前へ前へ。地道な活動はこれからも続く。

(茨城新聞社 松本 隆吾)

スポーツを通じて豊かな社会の創造を目指す「Jリーグ百年構想」の実現に向けて、JリーグとJクラブはさまざまな施策を展開している。その活動の最前線ともいえるJクラブは、それぞれのホームタウンを中心に、地域の特徴、実情などに応じて多彩なプログラムに取り組んでいる。地域に根差し、活力を与え、人々の交流と触れ合いを促進する、こうした活動を紹介するシリーズの15回目は、鹿島アントラーズとロアッソ熊本にスポットを当てた。



30 ロアッソ熊本



熊本色を前面に県民の誇りへ。 「夢」と「熱意」で地道に根気強く

徹底的に対話を重視

「〇〇選手はやんちゃで、試合中、たまにさぼっている時間がある。そのときは『もっと動け』って声をかけてください」

「△△選手はたまにパスミスするけど、ヘディングはすごい。いいヘディングしたら声援を送ってくださいね」

2009年5月10日、母の日。ロアッソ熊本のホームスタジアム、熊本県民総合運動公園陸上競技場(KKWING)。試合前、池谷友良総監督・GMが約40人のお母さんたちを集めて、軽妙なトークを披露していた。

「お母さんのためのサッカー講座」は母の日にちなみ、クラブスタッフが企画。専門的なサッカーの見方ではなく、選手の性格やプレースタイルを面白おかしく紹介し、お母さんたちのハートをがっちりつかんだ。当初の予定時間を15分もオーバーする盛況ぶり。池谷GMは「お母さんたちはパワーがあるし、影響力も大きい。もっと掘り起こす必要がある。1人でも多くロアッソ熊本のファンを獲得していきたい」と力を込めた。



池谷 総監督・GM

Jリーグがまとめた08年のホームタウン活動調査によると、「監督・コーチの活動数」はロアッソ熊本がJ1クラブを抑えて1位(47回)。この大半が、池谷GM(前監督)の講演活動だ。今季からGM専任となり、その回数はさらに増加。7月は、すでに7、8本の講演予定が入っている。対象はスポンサー、地域の集まり、学生などさまざま。依頼があれば県内各地、どこへでも飛んでいき、熱い思いを語る。最後に「ファンクラブに入ってください」と勧誘も忘れない。

ピッチ外の「ハードワーク」は池谷GMだけにとどまらない。08年に街頭イベントやサッカー教室などの活動に参加した選手の延べ人数は902人で1位だった。今シーズンの開幕前は河端和哉主将や山内祐一選手ら6人が、県内の自動車販売店や菓子店などでインターンシップ(職場体験実習)に参加した。選手のセカンドキャリアに対する意識を高めるのが目的だ



選手たちもピッチ外で熱心に活動。スポンサーブースで子供たちにサインをする松岡康暢選手 ©ロアッソ熊本

が、社員と直接触れ合うことで、クラブをより身近に感じてもらう効果もあった。来年1月までかけて全選手を参加させる方針だ。

「熊本愛」あふれるクラブに

04年、「県民に元気を、熊本に活力を、子どもたちに夢を」のスローガンの下、「県民運動」として誕生したロアッソ熊本(当時はロッソ熊本)。九州リーグ、JFLを経て、3年で当初の目的だったJリーグ入りを成し遂げた。しかし、その一方で、試合の勝ち負けばかりがクローズアップされるようになり、「県民運動」という本来の目的が忘れられがちになっていた。このため、Jリーグ2年目の今季は、クラブスローガンを「絆 Keep & Change」に設定。ホームゲームの試合前に子供たちが、クラブの設立趣旨をうたった宣言文を読み上げるほか、選手やスタッフもこれまで以上に講演やイベントなどに参加し、県民との絆を深めている。

こうしたクラブの姿勢に、サポーターや地域も呼応し始めた。ホームゲームでは毎試合後、サポーター有志がピッチボードの撤去作業を手伝う姿が見られるようになり、熊本市東部の健康商店街ではシャトルバス発着場の場所を提供するなど、少しずつ支援の輪が広がって

いる。

ロアッソ熊本は今年10月をめどに、これからの方向性やサッカースタイルなどを盛り込んだクラブの明確な理念を打ち出す方針。池谷GMは「例えば、選手の構成にしても、30人という単純な枠で考えた場合、最終的に3分の2が熊本県出身の選手、このうち半分を育成組織出身選手という割合にしたいと思っている。サッカースタイルの方向性も明確に示し、その中で『熊本愛』を持った選手を育てる。ほかのクラブにはない、『熊本色』が前面に出るような理念を打ち出し、みんなで共有していきたい。それが最終的には県民の誇りとなり、自信になると思う」と語る。

現在、ロアッソ熊本は選手31人中10人が県出身選手で、Jクラブの中でも地元出身の割合が高い。さらに今シーズンからようやくユースチームが発足し、種まきの準備は整った。何億円もの金をポンと出してくれるスポンサーはない。クラブハウスや専用練習場もない。ないづくしのクラブにあるのは「夢」と「熱意」だけだ。ロアッソ熊本は県民を信じ、地道に、根気強く、語り続ける。

(熊本日日新聞社 久保田 尚之)



ポスターを配り、ファン・サポーターと握手をする吉田智志選手。直接の触れ合いが絆を深める ©ロアッソ熊本

今やスポーツの普及・発展に不可欠な存在となっているのがテレビ放送。「スカパー！」は2007年にJリーグオフィシャルブロードキャスティングパートナーとなり、J1リーグ戦、J2リーグ戦の全試合生放送を実現している。試合放送に加えたさまざまな楽しみ方について、スカパーJSAT株式会社のスポーツ事業部兼Jリーグプロジェクトアシスタントマネージャー、森元光一氏(写真下)に話をうかがった。



全試合生放送の注目ポイント

—— J1・J2リーグ戦の全試合生放送を実現した「スカパー！」として、「ここを見ていただきたい」というところを挙げていただけますか。

森元 まず、できるだけ多くの試合を90分間、フルに見ていただきたいですね。チームには試合中、あるいはシーズン中、いいときも悪いときもあります。そういったすべてを見てもらうところに、全試合生放送の意味があると思います。

—— 試合の中継についてはいかがでしょう。

森元 試合終了後、10分以内に行われる解説者の監督インタビューも見ただけだと、Jリーグの試合をさらに面白く見ることができると思います。これは、日本で初の試みです。かつてはJリーグの選手や監督を経験した解説者だからこそ、聞き出せる話もあります。これが一番の「ウリ」と考えており、その内容をしっかりと皆さんに聴いていただきたいです。勝敗にかかわらず、試合終了直後にインタビューがあるということは、監督の皆さんにも浸透してきました。昨年3月まで浦和レッズの指揮を執っていたホルガー オジェック監督は、このインタビューを何よりも楽しみにしていたそうです。そういう話を聞くと、やってよかったと思いますね。

—— 全試合生放送ゆえの苦勞もあるでしょうね。

森元 まれに悪天候などで、試合が中断することがあります。生放送ですから当然、放送時間が延びますが、その後に予定している試合を、どのチャンネルに移動させるのか、といった問題が起きます。いろいろな放送を紹介しているプロモチャンネルというのがありますが、こちら

にシフトして放送という措置を想定することもあります。試合開催日は放送センターに詰め、中継の画面を並べてウオッチし、さまざまな事態に備えるスタッフが複数、常駐しています。

—— 試合開催日の最後の試合が終わった直後に放送する「Jリーグアフターゲームショー」は、いかがですか。

森元 その日に行われた全試合のハイライトを1試合につき最低3分間、ゴールについてはシュートの場面から最低でも3プレーさかのぼって放送しています。また、レフェリーの判定なども時間が許す限りお伝えし、議論していきたい。審判の方々には耳の痛い話が出るかもしれませんが、あるレフェリーからは「襟を正すことができ、とても楽しみにしている」との言葉をいただきました。

—— 再放送も含めると、時間差で試合当日の24時までに3回も放送する手厚さですね。

森元 1回目の再放送を30分後にスタートさせ、第2回目は24時から始まります。これはスタジアムから帰宅したファン・サポーターの方々に、いろいろなタイミングで見られるよう配慮したものです。応援するチームが勝ったときなどは特に、何度でも見たいという気持ちも強いでしょう。

—— 試合の報道的な側面だけでなく、楽しめるような部分はありますか。

森元 試合のハーフタイムにクラブ応援コーナーを設け、ホームクラブの情報をさまざまな角度からお伝えしています。選手の日常を紹介する映像だったり、イベントの告知や、クラブのあらゆる発信の場を設けています。このコーナーも気軽に楽しんでいただけたと思います。

魅力的な試合中継を目指して

—— 試合の実況を行うアナウンサー、解説者の方々に出している要望はありますか。

森元 Jリーグは世界へとつながっています。世界で通用するプレーをするためには、何が必要なのか。そういった視点、意識を持ってコメントすることを心がけてもらっています。サッカー日本代表もFIFAワールドカップ予選を突破し、来年の本大会に向けた選手選考のスタートラインです。世界レベルで必要なことなどを重点的に、視聴者の皆さんへ伝えてもらうよう

うにしています。

——「スカパー！」の試合放送を見ているアウェイチームのファン・サポーターも多いと思います。放送する側として、ホームとアウェイのスタンスについては、どのように考えていますか。

森元 公平性という問題もありますが、それを最優先すると、感情移入して見ている人にとっては試合の魅力が損なわれかねないので、生のプレーをしっかりと伝えることに尽きると思います。例えば、試合終盤の手に汗握る場面。こうしたときは盛り上がり、わくわく感が、最も重要になります。今年のJリーグ中継は対決の構造を強調する「VS.」をコンセプトにしていますが、それをどのように伝えていくか。試合ごとにテーマがあり、その中でVS.をどのように織り込み、見せていくかということを考えています。また、各地の放送局、プロダクションなどの協力を得て放送を行っていますが、そういう方々のホームチームに対する熱い思いも冷ますことのないような配慮も必要と感じています。

—— 今後の中継について、何か企画やアイデアはありますか。

森元 重要な試合では通常のスタッフのほか、ピッチレベルでのプレーヤー解説を考えています。選手生活を引退して間もない方に、より選手に近い視点から解説をお願いし、放送に反映させたいと思います。例えば、ダービーマッチなら両チームのOBをプレーヤー解説に起用すれば、より深く興味深い話が聞けるのではないのでしょうか。また、シーズンクライマックスに近づいたら、もう一つチャンネルを開き、速報や現場でのインタビュー、得点ごとに移り変わる順位の推移など、リアルタイムで状況を伝えるようなことも企画しています。

—— 選挙速報のような感じですね。

森元 まさにそういうイメージです。優勝争い、昇降格の争いなど、試合と連動して緊迫感あふれる状況をお伝えできればと思います。利点は放送センターと全試合会場が回線で結ばれていることです。「スカパー！」だからできることに取り組んでいきたいですね。



「Jリーグニュース」は100%再生紙を使用しています。